

「中長期経営プラン2017」中間評価の概要

令和4年8月 南房総広域水道企業団事務局

1 趣旨

「中長期経営プラン」（計画期間：平成29年度～令和8年度）（以下「プラン」）について、中間年度（平成29～令和3年度）を経過したことから、今般総括評価（中間）を行ったものである。

2 令和3年度までの取組状況

(1) 中間評価概要

プランに計上されている取組の令和3年度までの実施状況は以下のとおりである。

評価	該当件数	構成比	備考
a：達成している	11件	33.3%	
b：概ね達成している	16件	48.5%	
c：達成していないが進展している	3件	9.1%	
d：進展していない	3件	9.1%	
合計	33件		

(2) d評価（進展していない）の取組（3件）

【取組項目】 管路の計画的な更新の検討
【取組内容】 管路は平成8年度の供用開始以来約20年が経過し、近い将来には耐用年数の40年を迎えることから、更新計画の準備段階として、主要な課題となる更新管ルート選定の検討を行う。また、先進事業、類似事業の調査を実施し、更新方法の検討を行う。
【中間評価】 d：進展していない（取組を中止） 本取組は、令和2年度に各構成市町等に説明した上で中止した。 *中止理由は、下記（3）に記載のとおり。
【取組項目】 適正な資産管理（アセットマネジメント）の向上
【取組内容】 今後、水道施設全体の更新需要が高くなることが予想されることから、資産の状態を適切に管理し、長期的な視点での持続可能な水道施設の管理運営にあたり、厚生労働省より公表されたアセットマネジメントの簡易支援ツールを使いながら、定期的に見直し資産管理の精度を上げてより効果的・効率的な施設の更新に取り組んでいく。
【中間評価】 d：進展していない 平成30年度にアセットマネジメント推進会議の設置要綱を制定したものの、目標である「標準型（タイプ3-C）」（厚生労働省から示されているアセットマネジメントの類型区分）へのアセットマネジメント精度の向上に向けた取組は進展していない。

<p>【取組項目】 民間活力の活用</p>
<p>【取組内容】</p> <p>民間委託の活用は、主に定型的な業務、民間事業者の専門的知識等を必要とする業務、付随的な業務等について既に導入しているが、今後は、委託効果の検証を行うとともに委託範囲の拡大や新たな業務委託の検討を行い事業運営の効率化を目指す。</p> <p>また、委託範囲の拡大に当たっては水道水の安全の確保、危機管理体制の維持、適正な人員配置及びコスト縮減効果等を十分考慮した上で実施していく。</p>
<p>【中間評価】 d：進展していない（取組を終了）</p> <p>本取組については、これまで検討してきたが、民間委託を現状以上に拡大する余地はないことから、令和3年度をもって取組を終了する。</p> <p>* 終了理由は、下記（3）に記載のとおり。</p>

（3）取組の中止（3件）

<p>【中止項目】 「水質検査体制の充実」中の「水道G L Pの取得」</p>
<p>【取組内容】</p> <p>水質事故時などに迅速に対応できるよう自己検査を原則とした体制を維持する。<u>また、高精度で信頼性の高い水質検査を実施するため、水道G L Pの取得に努める。</u></p> <p>* 水道G L P：（公社）日本水道協会が認定する水道水質検査優良試験所</p>
<p>【中止理由】</p> <p>当企業団は令和6年度末に解散し、事業を千葉県企業局に移管する方向となっているが、移管後の水質検査体制が未定で、水道G L Pの認定を取得しても無駄になる公算が大であるため。</p>

<p>【中止項目】 管路の計画的な更新の検討</p>
<p>【取組内容】</p> <p>管路は平成8年度の供用開始以来約20年が経過し、近い将来には耐用年数の40年を迎えることから、更新計画の準備段階として、主要な課題となる<u>更新管ルート選定</u>の検討を行う。また、先進事業、類似事業の調査を実施し、更新方法の検討を行う。</p>
<p>【中止理由】</p> <p>ア 現在、夷隅地域及び安房地域のそれぞれにおいて末端給水事業の統合協議が進められているところであり、統合後の末端給水事業者との間で給水地点及び給水量を協議・調整する必要があること。</p> <p>イ 当企業団は令和6年度末に解散し、事業を千葉県企業局に移管する方向となっており、将来的な長期間に及ぶ施設の大規模更新事業計画の立案は、統合後の事業者に委ねることが適当であること。</p>

【中止項目】 民間活力の活用

【取組内容】

民間委託の活用は、主に定型的な業務、民間事業者の専門的知識等を必要とする業務、付随的な業務等について既に導入しているが、今後は、委託効果の検証を行うとともに委託範囲の拡大や新たな業務委託の検討を行い事業運営の効率化を目指す。

【中止理由】

プランに基づき、さらなる委託業務範囲の拡大を検討してきたが、受水団体への給水責任を確実に果たす観点及び当企業団職員における業務運営ノウハウの継承を図る観点から、既に行っている浄水場の運転管理等業務の一部委託などに加えて、現状以上に民間委託の拡大を図る余地はないものと判断したため。

3 令和3年度までの収支計画の実績

(1) 収益的収支

(単位：千円)

区分 \ 年度		H29	H30	R1	R2	R3	計
収益的収入 (A)		3,906,502 (3,897,310)	3,804,025 (3,800,141)	3,815,437 (3,804,113)	3,782,536 (3,701,463)	3,762,441 (3,680,924)	19,070,941 (18,883,951)
内訳	給水収益	2,830,159	2,823,102	2,832,848	2,831,820	2,820,466	14,138,395
	他会計補助金	34,700	0	0	0	0	34,700
	県補助金	45,899	38,101	19,291	12,815	0	116,106
	長期前受金戻入	995,160	939,200	959,418	929,234	933,615	4,756,627
	その他	584	3,622	3,880	8,667	8,360	25,113
収益的支出 (B)		3,481,110 (3,831,718)	3,445,491 (3,662,685)	3,536,706 (3,755,316)	3,418,203 (3,621,769)	3,458,937 (3,568,184)	17,340,447 (18,439,672)
内訳	職員給与費	224,248	232,169	234,705	230,333	215,664	1,137,119
	経費	1,045,171	1,122,337	1,255,814	1,138,272	1,210,342	5,771,936
	減価償却費	2,012,777	1,929,685	1,925,111	1,965,105	1,977,385	9,810,063
	支払利息	198,906	161,139	120,825	81,919	55,362	618,151
	その他	8	161	251	2,574	184	3,178
収益的収支差引(純損益) (A)-(B)=(C)		425,392 (65,592)	358,534 (137,456)	278,731 (48,797)	364,333 (79,694)	303,504 (112,740)	1,730,494 (444,279)

注:下段の () 内の数値は計画値である。

【説明】

ア 収益的収入は、平成30年度以降、構成市町からの他会計補助金を繰り入れないこととした一方、収入の75%（令和3年度決算見込ベース）を占める「給水収益」は、懸念していた人口減少に伴う使用料金の減少の影響が想定より少なかったことから、期間中の収入計は計画値より1%増（1億8,699万円増）の190億7,094万1千円となった。

イ 収益的支出は、経費のうち負担金（3.2%減（7億6,674万1千円減））及び修繕費（16.9%減（3億1,954万8千円減））の減、職員数の削減による職員給与費（4.5%減（5,392万3千円減））の減、房総導水路建設事業割賦負担金の繰上償還実施による支払利息（1.8%減（1,167万6千円減））の減等により、期間中の支出計は計画値より6%減（10億9,922万5千円減）の173億4,044万7千円となった。

ウ これら収支の結果により、期間中の純利益（純損益）の計は、計画値より289.5%増（12億8,621万5千円増）の17億3,049万4千円となり、計画目標を上回った。

(2) 資本的収支

(単位：千円)

区分 \ 年度	H29	H30	R1	R2	R3	計	
資本的収入 (D)	1,198,507 (842,293)	533,869 (840,164)	451,836 (738,900)	365,618 (723,908)	44,031 (37,461)	2,593,861 (3,182,726)	
内訳	企業債	410,700	188,300	125,300	111,000	0	835,300
	出資金	502,697	0	0	0	0	502,697
	国庫(県)補助金	285,110	345,569	326,536	254,618	0	1,211,833
	その他	0	0	0	0	44,031	44,031
資本的支出 (E)	2,466,891 (2,685,321)	3,101,155 (3,086,240)	1,850,923 (1,969,221)	1,524,528 (1,873,875)	925,112 (1,093,007)	9,868,609 (10,707,664)	
内訳	建設改良費	1,334,980	1,932,017	706,936	527,196	469,356	4,970,485
	企業債償還金	484,981	394,232	408,015	409,935	403,373	2,100,536
	年賦償還金	646,930	774,906	735,972	587,397	52,383	2,797,588
資本的収支差引 (D)-(E)=(F)	-1,268,384	-2,567,286	-1,399,087	-1,158,910	-881,081	-7,274,748	
内部留保資金残高	5,804,302 (4,596,727)	4,865,142 (3,477,013)	4,711,376 (3,289,885)	5,158,507 (3,301,976)	5,673,797 (3,475,061)	- -	
企業債残高	3,602,443 (3,604,696)	3,396,511 (3,408,751)	3,113,796 (3,109,706)	2,814,861 (2,780,550)	2,411,487 (2,361,563)	- -	

【説明】

ア 資本的収入は、平成30年度以降、構成市町からの出資金を繰り入れないこととしたため、期間中の計で計画値より60.2%減(7億6,079万5千円減)の5億269万7千円となった。それに伴い不足する財源は企業債等で賄うこととしたため、企業債の期間中の計は計画値より19.3%増(1億3,540万円増)の8億3,530万円となった。

以上のことにより、期間中の計は計画値より18.5%減(5億8,886万5千円減)の25億9,386万1千円となった。

イ 資本的支出は、建設・更新事業費等の減により建設改良費の期間中の計が計画値より12.9%減(7億3,782万3千円減)の49億7,048万5千円となったこと等により、期間中の計は、計画値より7.8%減(8億3,905万5千円減)の98億6,860万9千円となった。

ウ 以上、資本的収入から資本的支出を差し引いた資本的収支差引を補てんした上での、内部留保資金は、令和3年度末の計画値34億7,506万1千円に対し、63.2%増(21億9,873万6千円増)の56億7,379万7千円となった。

中長期経営プラン 収支計画 比較表

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画						実績						差額 (実績-計画)						
	H29	H30	R1	R2	R3	計	H29	H30	R1	R2	R3	計	H29	H30	R1	R2	R3	計	
収益的収入 (A)	3,897,310	3,800,141	3,804,113	3,701,463	3,680,924	18,883,951	3,906,502	3,804,025	3,815,437	3,782,536	3,762,441	19,070,941	9,192	3,884	11,324	81,073	81,517	186,990	
内訳	給水収益	2,826,338	2,792,853	2,795,189	2,782,452	2,777,690	13,974,522	2,830,159	2,823,102	2,832,848	2,831,820	2,820,466	14,138,395	3,821	30,249	37,659	49,368	42,776	163,873
	他会計補助金	34,760	26,541	18,079	9,021	2,196	90,597	34,700	0	0	0	0	34,700	-60	-26,541	-18,079	-9,021	-2,196	-55,897
	県補助金	50,899	34,317	22,265	9,723	0	117,204	45,899	38,101	19,291	12,815	0	116,106	-5,000	3,784	-2,974	3,092	0	-1,098
	長期前受金戻入	985,074	945,511	967,580	899,348	900,119	4,697,632	995,160	939,200	959,418	929,234	933,615	4,756,627	10,086	-6,311	-8,162	29,886	33,496	58,995
	その他	239	919	1,000	919	919	3,996	584	3,622	3,880	8,667	8,360	25,113	345	2,703	2,880	7,748	7,441	21,117
収益的支出 (B)	3,831,718	3,662,685	3,755,316	3,621,769	3,568,184	18,439,672	3,481,110	3,445,491	3,536,706	3,418,203	3,458,937	17,340,447	-350,608	-217,194	-218,610	-203,566	-109,247	-1,099,225	
内訳	職員給与費	222,838	235,615	239,837	244,176	248,576	1,191,042	224,248	232,169	234,705	230,333	215,664	1,137,119	1,410	-3,446	-5,132	-13,843	-32,912	-53,923
	経費	1,409,330	1,334,181	1,434,265	1,304,964	1,216,310	6,699,050	1,045,171	1,122,337	1,255,814	1,138,272	1,210,342	5,771,936	-364,159	-211,844	-178,451	-166,692	-5,968	-927,114
	減価償却費	2,000,661	1,929,922	1,955,213	1,985,162	2,048,795	9,919,753	2,012,777	1,929,685	1,925,111	1,965,105	1,977,385	9,810,063	12,116	-237	-30,102	-20,057	-71,410	-109,690
	支払利息	198,889	162,967	126,001	87,467	54,503	629,827	198,906	161,139	120,825	81,919	55,362	618,151	17	-1,828	-5,176	-5,548	859	-11,676
	その他	0	0	0	0	0	0	8	161	251	2,574	184	3,178	8	161	251	2,574	184	3,178
収益的収支差引(純損益) (A)-(B)=(C)	65,592	137,456	48,797	79,694	112,740	444,279	425,392	358,534	278,731	364,333	303,504	1,730,494	359,800	221,078	229,934	284,639	190,764	1,286,215	
資本的収入 (D)	842,293	840,164	738,900	723,908	37,461	3,182,726	1,198,507	533,869	451,836	365,618	44,031	2,593,861	356,214	-306,295	-287,064	-358,290	6,570	-588,865	
内訳	企業債	232,600	212,900	131,500	107,900	15,000	699,900	410,700	188,300	125,300	111,000	0	835,300	178,100	-24,600	-6,200	3,100	-15,000	135,400
	出資金	324,583	330,572	298,655	292,221	17,461	1,263,492	502,697	0	0	0	0	502,697	178,114	-330,572	-298,655	-292,221	-17,461	-760,795
	国庫(県)補助金	285,110	296,692	308,745	323,787	5,000	1,219,334	285,110	345,569	326,536	254,618	0	1,211,833	0	48,877	17,791	-69,169	-5,000	-7,501
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44,031	44,031	0	0	0	0	44,031	44,031
資本的支出 (E)	2,685,321	3,086,240	1,969,221	1,873,875	1,093,007	10,707,664	2,466,891	3,101,155	1,850,923	1,524,528	925,112	9,868,609	-218,430	14,915	-118,298	-349,347	-167,895	-839,055	
内訳	建設改良費	1,545,662	2,005,130	840,066	710,813	606,637	5,708,308	1,334,980	1,932,017	706,936	527,196	469,356	4,970,485	-210,682	-73,113	-133,130	-183,617	-137,281	-737,823
	建設・更新事業費	102,121	555,154	552,459	493,281	589,691	2,292,706	391,721	547,475	448,304	249,559	461,041	2,098,100	289,600	-7,679	-104,155	-243,722	-128,650	-194,606
	有価証券取得額	1,000,000	1,000,000	0	0	0	2,000,000	500,000	1,000,000	0	0	0	1,500,000	-500,000	0	0	0	0	-500,000
	導水路緊急改築事業費	435,760	425,934	263,140	200,879	0	1,325,713	435,676	376,673	250,735	269,467	0	1,332,551	-84	-49,261	-12,405	68,588	0	6,838
	事務費等	7,781	24,042	24,467	16,653	16,946	89,889	7,583	7,869	7,897	8,170	8,315	39,834	-198	-16,173	-16,570	-8,483	-8,631	-50,055
	企業債償還金	492,728	408,845	430,545	437,056	433,987	2,203,161	484,981	394,232	408,015	409,935	403,373	2,100,536	-7,747	-14,613	-22,530	-27,121	-30,614	-102,625
年賦償還金	646,931	672,265	698,610	726,006	52,383	2,796,195	646,930	774,906	735,972	587,397	52,383	2,797,588	-1	102,641	37,362	-138,609	0	1,393	
資本的収支差引 (D)-(E)=(F)	-1,843,028	-2,246,076	-1,230,321	-1,149,967	-1,055,546	-7,524,938	-1,268,384	-2,567,286	-1,399,087	-1,158,910	-881,081	-7,274,748	574,644	-321,210	-168,766	-8,943	174,465	250,190	
内部留保資金残高	4,596,727	3,477,013	3,289,885	3,301,976	3,475,061	-	5,804,302	4,865,142	4,711,376	5,158,507	5,673,797	-	1,207,575	1,388,129	1,421,491	1,856,531	2,198,736	-	
企業債残高	3,604,696	3,408,751	3,109,706	2,780,550	2,361,563	-	3,602,443	3,396,511	3,113,796	2,814,861	2,411,487	-	-2,253	-12,240	4,090	34,311	49,924	-	